

SOLVE

「ソリューション」 solution

業務上の問題点の解決や要求の実現を行なうための情報システム。

専門の業者が顧客の要望に応じてシステムの設計を行ない、
必要となるあらゆる要素（ハードウェア、ソフトウェア、通信回線、サポート人員など）を
組み合わせて提供するもののことをいう。

株式会社 ソルブ solve co.,ltd

メディカル部門

注射薬払出システムコーディネート
病院内注射薬在庫管理システム構築

デザイン部門

デザイン制作全般
宣伝プロモーション企画
WEBサイトデザイン
キャラクター制作

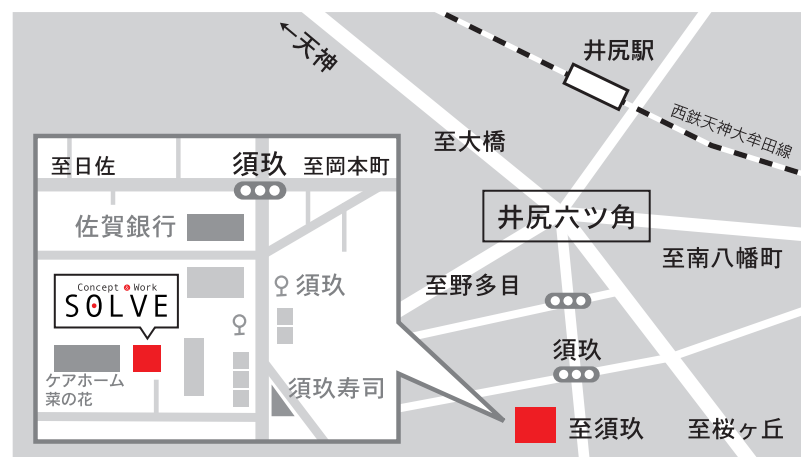
〒816-0863
福岡県春日市須玖南4丁目11番地

TEL.092-575-0556
FAX.092-575-2688
携帯電話.080-1768-0556

決算/5月 末日

設立年月日/2004年1月9日

代表者名/秋枝 幸房
<http://www.solve-design.co.jp>
y-akieda@sky.plala.or.jp



アクセス：西鉄大橋駅より42番のバスで約15分
井尻駅前バス停より45番のバスで約5分



アイマース
IMRSとは今まで手作業だった使用済み注射薬の管理を
簡単で確実にする経営効率化システムです。

緊急を要する(救命救急) (手術室) (ICU) では、どの注射薬をいつ使用するかわからないため
 事後管理を人の手で行う必要がありました。それは業務の非効率性を招くとともに
 使用注射薬のカウントミスによる請求漏れに繋がっているのです。

concept ▶ IMRSは、その非効率性、請求漏れなどのマイナス面をプラスに変えることを目的としています。

特許出願中



主な仕様	寸法	幅/1m40cm 奥行/98cm 高さ/1m80cm
	電源	100v
	スピード	25本~36本/3分
	※注: 上記仕様は、開発状況や内容に応じて変動することがあります。	

業界初
 バラ注射薬自動認識機能、種類判別機能搭載
注射薬自動認識装置
 (IMRS装置)

手術室で使用される多種の注射薬をロボットが1つ1つカメラで認識。
 薬の種類と数をデータにして薬剤部・医事課PCへ自動的に送信します。



業務の合理化 A
 手術室使用済み注射薬

マイナス面
 ー 看護師による手術伝票の手書き
 ー 薬剤師による手動集計
 ー 医事課によるPCへの手動入力

プラスへ!
 + 機械により自動化
 + PCから自動送信
 + PCから自動送信

業務の合理化 B
 手術室定数配置注射薬

看護師による手動集計
 → PCから自動送信

マイナス面
 ー 看護師による手動集計
 ー 薬剤部・医事課へ伝票搬送

プラスへ!
 + PCから自動送信
 + PCから自動送信

IMRS装置の構造

IMRSだけの最新技術
 重なっていてもOK
POINT

IMRSは重なった注射薬もピッキングできるため並べなくてOK。
 また、ピッキングに関して今までのカメラ認識では事前に認識させたいものを登録しておく必要がありましたがIMRSはその事前登録がいりません。

カメラにて種類判別
 薬品の種類、使用個数をデータ化

業務効率化による効果

大学B病院 (手術件数: 約8000件/年)

IMRS導入前 各部署の作業時間

- 手術室 (コスト表への記載) 約3時間44分/日
- 薬剤部 (集計時間) 約1時間/日
- 医事課 (電子カルテ入力) 約1時間30分/日

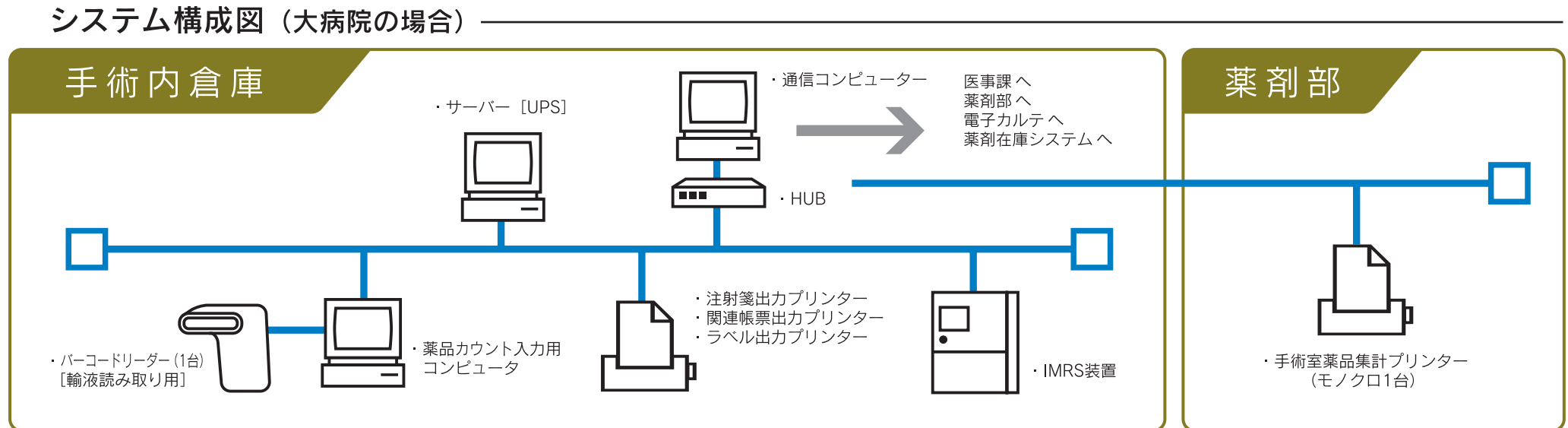
合計 6時間14分
効率化

使用済み注射薬の請求漏れ防止効果

公立A病院 請求漏れ防止
 年間 約1,000万円
 (手術件数: 約3600件/年)

大学B病院 請求漏れ防止
 一週間 約50万円
 (手術件数: 約8000件/年)

業務量・請求漏れ調査を行ってみませんか?
 (弊社でも実施可能です。)



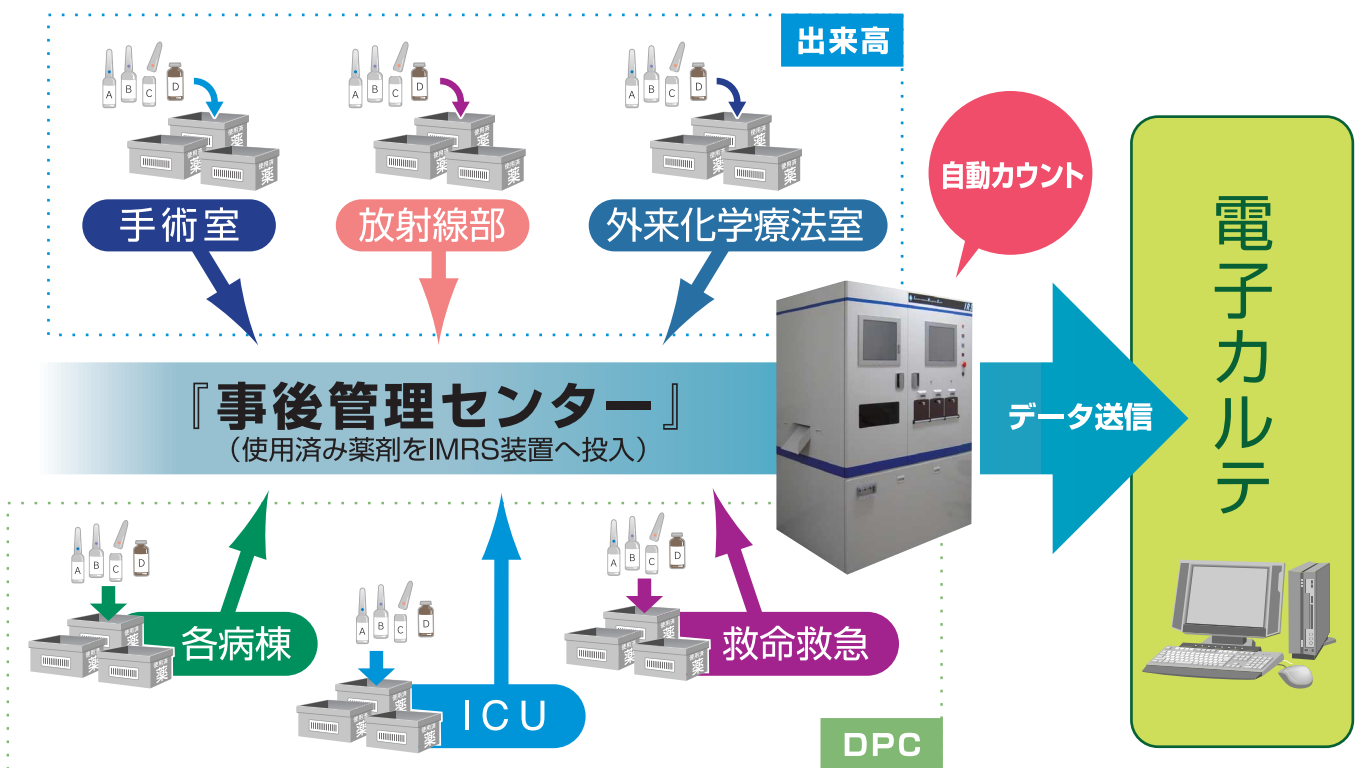
新しい取り組み（ご提案）



院内における薬剤全てをIMRSを使用し、自動的に電子カルテ上に反映させることで
実施後入力の業務軽減、もしくは実施後データとの比較を行うことによる経営的な管理を行う。

【方法】

患者毎に分別された回収ボックスを集めデータ化 → 電子カルテへ送信する



患者毎のボックスを設け、IMRSへ投入するだけで**出口の管理**が全て可能!!

使用薬品の事後集計を機械化することで **請求漏れ防止、業務効率化**が可能!!

『入口の管理』 - 『出口の管理』 = **在庫管理
紛失防止
正確な原価管理**

実施データとの比較 = 実施漏れ確認

(投与していないのに使用した事になっている)

日本医療機能評価機構

病院機能評価事業 Ver.6.0 への対応が可能になります。

4.3.2 院内における薬剤が適切に保管・管理されている

- 4.3.2.2 ④ 在庫薬品の紛失チェック体制が確立されている
- 4.3.2.3 病棟や各部門の薬剤保管・管理に薬剤師が関与している
- 4.3.2.4 麻薬・向精神薬やハイリスク薬剤、特定生物由来製品などが適切に管理されている

6.4.2 物品の在庫管理が適切に行われている

- 6.4.2.2 適正な在庫量を定め、管理している
 - ① 合理的な出庫・供給の仕組みがある
 - ② 使用量が把握され適切に在庫量が調整されている